

第72回びわ湖毎日マラソン大会要項

兼 第16回世界陸上競技選手権大会(2017/ロンドン)代表選手選考競技会



主催 日本陸上競技連盟、毎日新聞社、滋賀県、滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会

<http://www.lakebiwa-marathon.com/>

共催 NHK

後援 滋賀県体育協会、大津市体育協会、スポーツニッポン新聞社

主管 滋賀陸上競技協会

特別協賛 住友電気工業株式会社

協賛 シチズン時計株式会社

支援 滋賀県警察、陸上自衛隊大津駐屯地

期日 2017年3月5日(日) 12時30分スタート

コース 日本陸連公認びわ湖毎日マラソンコース (42.195km)

皇子山陸上競技場—柳が崎—瀬田唐橋西詰—石山寺—瀬田川洗堰—瀬田唐橋東詰—県立漕艇場—新瀬田浄水場前折り返し—皇子山陸上競技場

マラソンの他に、20km、ハーフ、25km、30kmの記録が公認される。ただし、完走した競技者が対象。

参加資格 (1)2016年度日本陸上競技連盟の登録競技者で、大会当日満19歳以上の男性競技者。

2014年12月1日以降、申込期日までに国内外の公認競技会で日本陸上競技連盟の登録者として下記の記録を出した男性競技者。

①マラソン 2時間30分00秒以内 ②ハーフマラソン 1時間10分00秒以内 ③30km 1時間40分00秒以内

④20km 1時間05分00秒以内 ⑤10000m 31分00秒以内

(2)日本陸上競技連盟が推薦する男性競技者。

競技方法

(1)国際陸上競技連盟 (IAAF) ならびに2016年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による。なお本大会は、IAAFが認定するゴールドラベルレースであり、IAAF Road Race Label Regulations (IAAF ロードレースラベリング規定) も適用される。

(2)各関門の閉鎖時間を次のとおり設定する。それ以降は、競技運営・交通警備上、競技を打ち切る。

◎15km地点 52分 ◎20km地点 1時間10分 ◎25km地点 1時間28分

◎30km地点 1時間48分 ◎35km地点 2時間09分 ◎40km地点 2時間30分

(3)各関門を通過後、次の関門閉鎖時間をオーバーすると思われる競技者及び競技役員が競技続行不可能と判断した競技者は、途中でレースを中止させる場合がある。

参加料

1人 5,000円 ※申し込み受け付け後は返金しない。参加料は下記①②いずれかの方法で申込締切日までに払い込むこと。

①郵便局備え付けの郵便払込取扱票を使用し郵便振替口座 00900-7-254790 加入者名 毎日新聞社

※必ず通信欄に「びわ湖毎日マラソン参加料」と記載すること。

②申込書を同封の上、現金書留で送付すること。

申込方法

別紙申込書に必要事項を記入し、下記宛に申し込みすること。

(問い合わせ先)

〒530-8251 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞社総合事業局内

びわ湖毎日マラソン大会事務局 TEL06-6346-8249/FAX06-6346-8372

申込締切

2017年2月6日(月)必着

表彰

(1)びわ湖毎日マラソン大会として1位から8位まで表彰する。

(2)参加者には記念品を贈る。

個人情報取り扱いについて

(1)主催者及び共催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を順守し個人情報を取り扱う。

なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

(2)本大会はテレビ放送及びインターネットで動画配信を行うことがある。

(3)大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者、共催者及び主催者、共催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

選手受付

3月4日(土) 午後1時～4時 琵琶湖ホテル

歓迎のタベ

3月4日(土) 午後5時 琵琶湖ホテル

表彰式

3月5日(日) 午後3時 皇子山陸上競技場本部前

選手村

琵琶湖ホテル (〒520-0041 大津市浜町2-40 TEL 077-524-7111)

その他

(1)コース下見は3月4日(土)午前10時より行う。(皇子山陸上競技場出発)

(2)健康検査は行わない。各人の責任で事前に健康診断を受けることが望ましい。

(3)競技中発生した傷害、疾病については、主催者は応急処置を行う。以降の責任は負わない。

(4)出場確定後やむをえず棄権する者は、棄権届を大会事務局へ提出のこと。

(5)ドーピングコントロール

国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規定、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液 (或いは両方) の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

(6)TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例 (TUE)”の申請を行わなければならない。

詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ (<http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ (<http://www.playtruejapan.org/>) を確認すること。

(7)未成年競技者親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

2015年1月1日より、世界アンチ・ドーピング規程、国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程が改定され、未成年 (20歳未満) 競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得する事が必要となる。

①本大会に参加する未成年者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。

同意書は <http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf> からダウンロード出来る。

②未成年競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR (陸連医事代表) に提出すること。

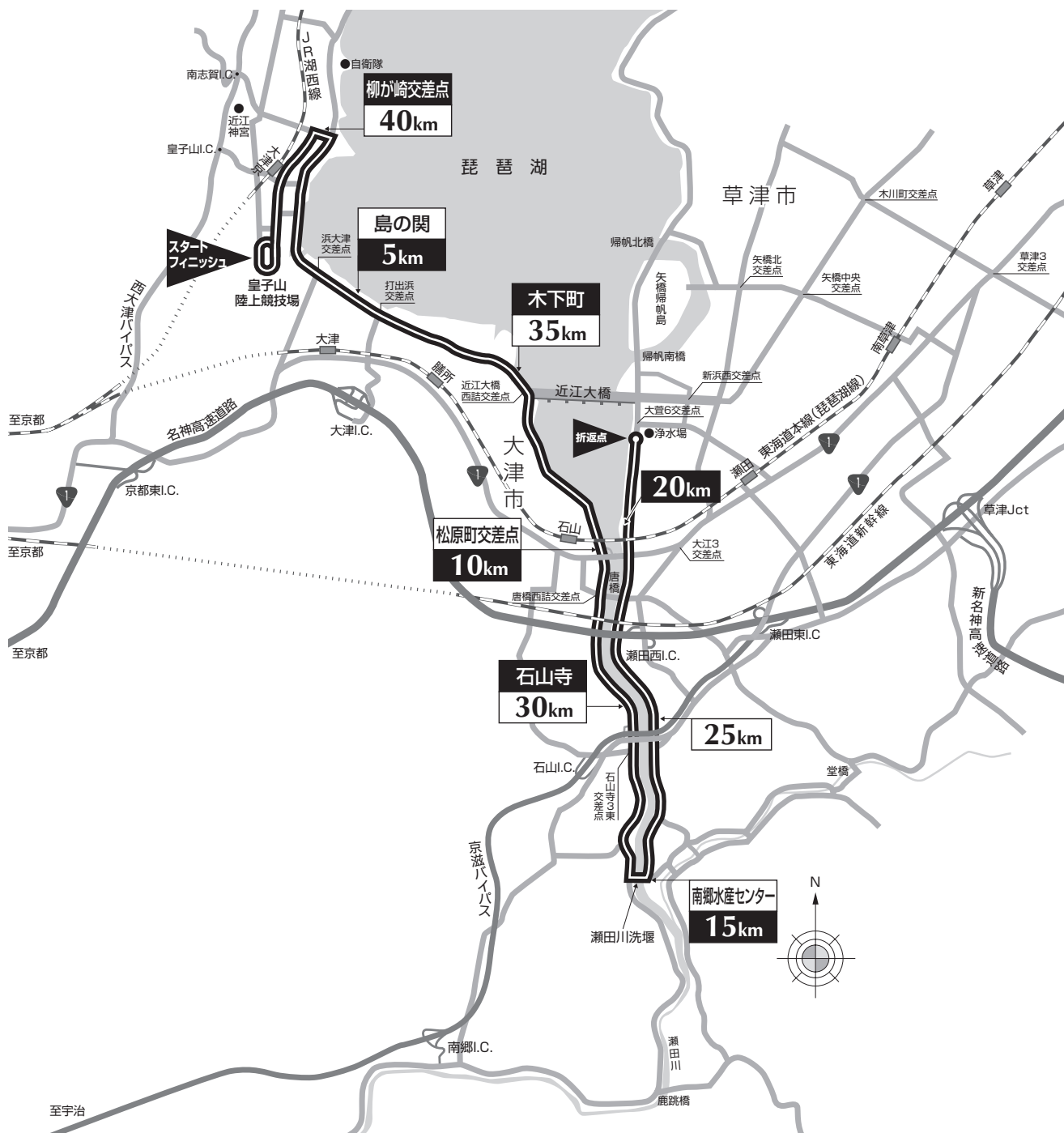
提出は未成年時に1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事をNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。

(8)大会の映像は主催者および共催者の許可なく第三者がこれを使用すること (インターネット上において画像や動画を配信することを含む) を禁止する。

(9)宿泊は別途案内する。

びわ湖毎日マラソンコース

42.195キロメートル



●コース高低表

